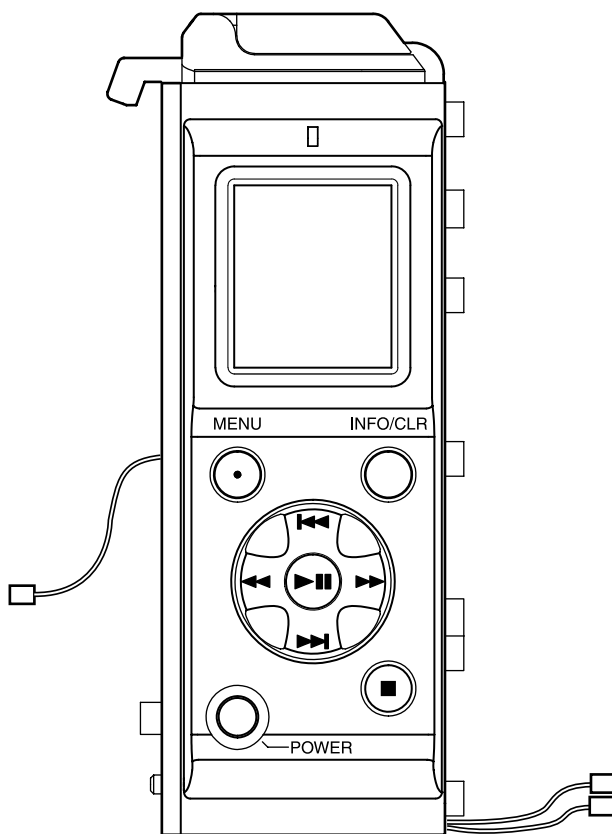




メモリーレコーダー

型名 **KA-MR100G**

取扱説明書



お買いあげありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」
をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお
使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必
要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際
は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製
造番号と保証書に記載されている製造番号が一致してい
るかお確かめください。

特長

本商品は、IEEE1394 経由で HD フォーマットの映像および音声信号を SxS (エス・バイ・エス) メモリーカードに記録し、再生することができるメモリーレコーダーです。

SxS メモリーカード採用

MPEG-2Long GOP 圧縮方式と SxS メモリーカードの採用により、下記のような長時間記録と高速転送に対応しています。

- HD 映像の最大 180 分 (32GB 容量、720P モード時) の長時間記録に対応しています。
- パソコンへの高速データ転送が可能となり、ワークフローの効率を向上させることができます。

業務用 HD カメラレコーダーに装着可能

- GY-HD200/HD250 シリーズ HD カメラレコーダーと一体化する構造で装着ができるため、機動力をいかにした撮影ができます。
- SxS メモリーカードへの記録のほかにも、カセットテープとのハイブリッド記録やシリーズ記録が可能です。

MP4 ファイルフォーマット採用※1

- MP4 ファイル形式については、XDCAM EX で使われているフォーマットに準拠しています。
※ 各機器においてはそれぞれサポートしている記録モードの違いもあるので、すべての機器間での互換性を保証しているわけではありません。

※1: MP4 ファイルフォーマット

本フォーマットは、ソニー株式会社からライセンス供与をうけている Professional Memory Card System Format を採用しております。

著作権について

- 本機で録画・録音したものを営利目的、または公衆に試聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 録画 (録音) したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

同梱品の CD-ROM には下記の内容が収録されています。

<ソフトウェア>

- パソコン用 SxS メモリーカードデバイスドライバーソフトウェア
- パソコン用アプリケーションソフトウェア (JVC ProHD Clip Manager)
- Final Cut Pro 用プラグインソフトウェア (JVC ProHD Log and Transfer Plugin) ※1

※1: “Final Cut Pro” は、Apple Inc. 製映像編集用ソフトウェアの名称です。

<ドキュメント>

- KA-MR100G 取扱説明書 (日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語)
- SxS メモリーカードデバイスドライバーソフトウェア インストールガイド
- JVC ProHD Clip Manager ユーザーズガイド
- JVC ProHD Log and Transfer Plugin ユーザーズガイド

パソコンへのアプリケーションソフトのインストール方法は、ユーザーズガイドや取扱説明書を参照ください。

もくじ

はじめに

特長	2
もくじ	2
正しくお使いいただくためのご注意	3
各部の名称とはたらき	4
LCD ディスプレイの表示	5

準備

カメラレコーダーにメモリーレコーダーを取り付ける	6
IEEE1394 接続をする	7
電源を入れる／切る	7
日付・時刻を設定する	7
SxS メモリーカードを挿入する / 取りはずす	8
SxS メモリーカードの記録可能時間	8

基本操作

カメラレコーダーの映像をメモリーレコーダーで記録する	9
メモリーレコーダーで記録した映像を再生する	10

メニュー

メニュー画面の設定方法	11
メニュー画面の構成と機能	12

その他

ワーニングメッセージ	14
エラーメッセージ	14
こんなときは	15
保証とアフターサービスについて	16
仕様	17
UTC 時差の地域一覧表	18

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意 : 操作上の注意が書かれています。

メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞ : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- XDCAM EX は、ソニー株式会社の業務用ビデオカメラシリーズの名称です。
- Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。
- Mac OS、Final Cut Pro は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

正しくお使いいただくための ご注意

保管および使用場所

■ 次のような場所に置かないでください。

誤動作や故障の原因になります。

- 許容動作温度 (0°C ~ 40°C) 範囲外の暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度 (30% RH ~ 80% RH) 範囲外の湿気の多いところ (結露なきこと)
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 厨房など蒸気や油分の多いところ
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

メモリーレコーダーの取り扱いについて

● GY-HD200/GY-HD250 カメラレコーダー以外の商品に接続して記録すると、正しく記録できない場合があります。メモリーレコーダー (KA-MR100G) 以外の商品で作成したクリップを再生すると、映像が乱れたり、音が途切れる場合があります。

- 接続対象以外のバッテリーを使用しないでください。
- バッテリーの取り外しは電源スイッチを OFF にしてから行なってください。メモリーレコーダーや SxS メモリーカードの故障の原因となります。
- 記録、再生中に、IEEE1394 ケーブルを取りはずさないでください。
- 長時間 (めやす 3 箇月以上) 電源が供給されていないと、次に電源を入れたときに初回設定画面が表示されます。
- 保管するときなどにメモリーレコーダーの上に物を置かないでください。
- KA-UM100G アダプター (別売) の IEEE1394 端子をパソコンに接続して使用することはできません。
- 内部の点検、修理は販売店にご依頼してください。

火災や感電、けがについて

- 落下によるけがや故障を防ぐため、不安定な所に置かないでください。持ち運ぶときは、カメラレコーダーのハンドルを持ってください。
- メモリーレコーダーのカバーなどをはずしたり、改造しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- カードスロットに異物などを入れないでください。金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電、故障の原因となります。

添付品について

■ パソコンの ExpressCard スロットを使用するときは、メモリーレコーダーに付属の CD-ROM に収録されている SxS メモリーカードデバイスドライバソフトウェアのインストールが必要です。

■ パソコンにクリップをコピーするときなどは、メモリーレコーダーに付属の CD-ROM に収録されているパソコン用アプリケーションソフトウェア (JVC ProHD Clip Manager) のインストールが必要です。

■ Apple Inc. 製の映像編集ソフトウェア Final Cut Pro に撮影したクリップを取り込む場合、CD-ROM に収録されている Final CutPro プラグインソフトウェア (JVC ProHD Log and Transfer Plugin) のインストールが必要です。

■ インストールの方法は、付属の CD-ROM に収録されているユーザーズガイド、インストールガイドを参照ください。

SxS メモリーカードの取り扱いについて

■ SxS メモリーカードをフォーマットする場合は、必ずメモリーレコーダーでフォーマットしてください。他機でフォーマットした SxS メモリーカードはメモリーレコーダーでは使用できません。

■ SxS メモリーカードをフォーマットすると、すべてのクリップが消去されます。

■ カードスロットのカバーを必ず閉めた状態で使用してください。

■ メモリーレコーダーに挿入した状態で SxS メモリーカードのライトプロテクトスイッチを操作しないでください。

■ 詳しくは、SxS メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

記録クリップの取り扱いについて

■ アクセス中 (記録、再生、フォーマットなど) に SxS メモリーカードを取りはずした場合、記録クリップは保証されません。メモリーレコーダーのアクセスランプが緑色のときに取りはずしてください。

■ 下記のような場合においても記録クリップは保証されません。

- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合。
- アクセス中にバッテリーを取りはずしたり、IEEE1394 ケーブルを取りはずした場合。
- ほこりや砂の多いところで使用したり、汚れた SxS メモリーカードを使用した場合。
- 破損ファイルの修復機能は、修復を保証するものではありません。

万一の事故による記録クリップの損害は、弊社では、一切の責任を負わないものとします。(大切なクリップは、バックアップを取っておくことをおすすめします。)

お手入れについて

■ お手入れは、電源を切ってから行なってください。

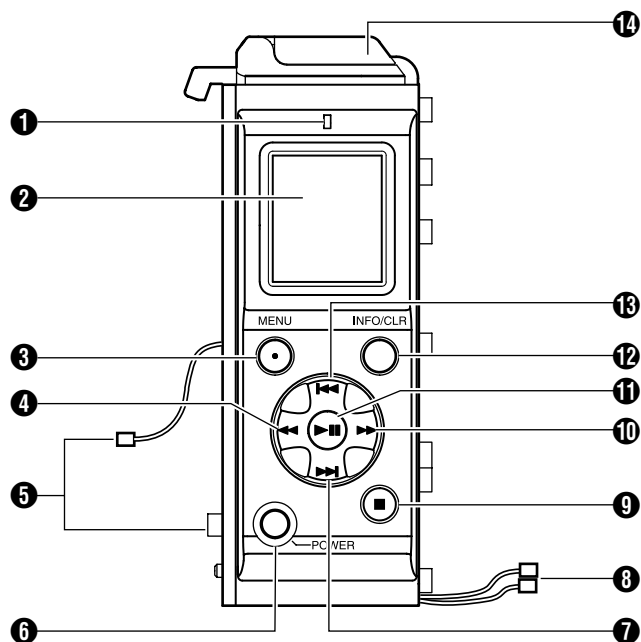
■ メモリーレコーダーは柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、後でからふきしてください。

■ ゴムやビニール製品に長時間接触させると、外装が変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

省エネについて

■ 長時間使用しないとき、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

各部の名称とはたらき



① アクセスランプ

SxS メモリーカードの状態が表示されます。

消灯 : SxS メモリーカードが入っていない場合

緑色点灯 : アクセスしていない場合

赤色点灯 : アクセス中 (記録、再生、フォーマットなど)

- SxS メモリーカードを取りはずすときは、アクセスランプが緑色になっていることを確認してから取りはずしてください。

② LCD ディスプレイ

ステータス画面、クリップ選択画面、メニュー画面が表示されます。(☞ 5、10、11 ページ)

メモ :

- LCD ディスプレイのコントラストやバックライト設定は、メニュー画面の [LCD] 設定画面で変更できます。

“LCD ディスプレイのコントラストやバックライト設定”
(☞ 12 ページ)

③ [MENU] ボタン

メニュー画面が表示されます。もう一度押すと、元の画面に戻ります。

④ [REV] ボタン

- 選択クリップを早戻しします。
- タイムコード、日付時刻やクリップ名設定画面が表示されているときは、設定位置を選択します。

⑤ カメラレコーダー接続用コネクタ

カメラレコーダーと接続するときは、KA-UM100G アダプター (別売) のメモリーレコーダー接続用コネクタに接続します。

⑥ [POWER] ボタン

メモリーレコーダーの電源を入/切します。ボタンは 1 秒以上、長押ししてください。

⑦ [NEXT] ボタン

- 選択クリップの次のクリップにスキップします。
- クリップ選択画面で、再生クリップを選択します。
- メニュー画面で、メニュー項目や設定値を選択します。

⑧ バッテリー接続用コネクタ

カメラレコーダー用バッテリーアダプターのコネクタに接続します。

⑨ [STOP] ボタン

- 記録や再生を停止します。
- メニュー画面で、設定変更せずにメニュー画面に戻ります。

⑩ [FWD] ボタン

- 選択クリップを早送りします。
- タイムコード、日付時刻やクリップ名設定画面が表示されているときは、設定位置を選択します。

⑪ [PLAY/STILL] ボタン

- スチルまたは再生します。
- メニュー画面を表示しているときは、項目や設定値を決定します。

⑫ [INFO/CLR] ボタン

- クリップの情報表示が切り換わります。(☞ 5 ページ)
- ユーティリティの実行画面では処理を実行します。その他の設定画面では工場出荷時の設定値に戻ります。

⑬ [PREV] ボタン

- 選択クリップの先頭または 1 つ前のクリップにスキップします。
- クリップ選択画面で、再生するクリップを選択します。
- メニュー画面で、メニュー項目や設定値を選択します。

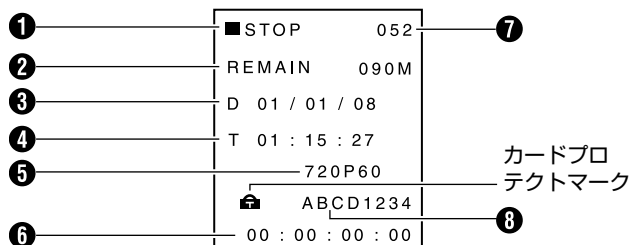
⑭ カードスロット

カバーを開けて、SxS メモリーカードを挿入します。
(☞ 8 ページ)

LCD ディスプレイの表示

記録および停止モードの場合

ステータス画面が表示されます。



① モード表示

---	SxS メモリーカードが入っていない場合
■ STOP	停止
● REC	記録中
STBY	スタンバイ (ポーズ)

② 残量表示

SxS メモリーカードの残量が時間 (分) で表示されます。

③ 日付表示

内蔵時計の日付を表示します。月/日/年の表示スタイルをメニュー画面の [CLOCK2]-[DATE STYLE] 画面で設定できます。
“日付・時刻を設定する” (P. 7、13 ページ)

④ 時刻表示

内蔵時計の時刻を表示します。表示スタイル (12 時間 /24 時間) をメニュー画面の [CLOCK2]-[TIME STYLE] 画面で設定できます。
“日付・時刻を設定する” (P. 7、13 ページ)

⑤ 映像フォーマット表示

メニュー画面の [SYSTEM] 画面で選択した映像フォーマット形式が表示されます。
“映像フォーマットの設定” (P. 12 ページ)

⑥ タイムコード/ユーザービット表示

記録されるタイムコードまたはユーザービットが表示されます。[INFO/CLR] ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

00:00:00:00 : タイムコード

0F 0F 0F 0F : ユーザービット

メモ:

- タイムコードの表示は、[DROP FRAME] の設定がノンドロップフレームモードかドロップフレームモードになっているかで異なります。

ノンドロップフレームモード	00:00:00:00
ドロップフレームモード	00:00:00:00

⑦ 総クリップ数表示

SxS メモリーカードに記録されている総クリップ数が表示されます。

⑧ クリップ名表示

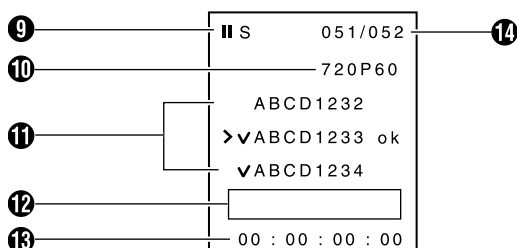
これから記録されるクリップ名が表示されます。クリップ名はメニュー画面の [CLIP NAME] 画面で指定できます。“クリップ名の変更またはクリップ番号のリセット” (P. 13 ページ)

メモ:

- SxS メモリーカードが入っていない場合、“NO CARD” と表示されます。
- SxS メモリーカードのライトプロテクトスイッチが ON の場合、クリップの前にカードプロテクトマーク が表示されます。

再生モードの場合

クリップ選択画面が表示されます。



⑨ モード表示

S	スチル	▶ P	再生中
▶▶ F1	早送り (低速)	◀◀ R1	早戻し (低速)
▶▶ F2	早送り (高速)	◀◀ R2	早戻し (高速)

⑩ 映像フォーマット表示

選択クリップの映像フォーマット形式が表示されます。
“映像フォーマットの設定” (P. 12 ページ)

⑪ クリップ名表示

- カーソル (>) 位置のクリップが選択クリップです。
- クリップが 1 つもない場合は、“NO CLIP” と表示されます。

v マーク	再生可能なクリップの先頭にチェックマーク (v) が付きます。
ok マーク	クリップ名の後ろに表示されます。ok マークの指定は、メニュー画面の [OK CLIP] 設定画面で設定できます。 “メニュー画面の [OK CLIP] 設定” (P. 12 ページ)

⑫ 再生位置表示バー

再生クリップの進行位置がバーで表示されます。
“メモリーレコーダーのタイムコードに関する設定” (P. 12 ページ)

⑬ クリップ情報表示

選択クリップの各種情報が表示されます。[INFO/CLR] ボタンを押すごとにクリップ情報が切り換わります。

00:00:00:00 : 再生タイムコード

0F 0F 0F 0F : 再生ユーザービット

RD 09/07/08 : クリップを記録した日付 (月/日/年)

RT 11:11:11 : クリップを記録した時間 (時:分:秒)

Dr 00:10:00 : クリップの長さ (デュレーション) (時:分:秒)

ご注意:

- 再生タイムコード値は正確ではありません。再生位置のめやすとしてお使いください。

⑭ 選択クリップ/総クリップ数表示

カメラレコーダーにメモリーレコーダーを取り付ける

カメラレコーダーにメモリーレコーダーを取り付ける前に IEEE1394 ケーブルの接続方法を確認してください。詳しくは、「IEEE1394 ケーブルで接続する」(P. 7 ページ)をご覧ください。

ご注意:

●メモリーレコーダーをカメラレコーダーに取り付けるには、KA-MR100G アダプター (別売) が必要となります。

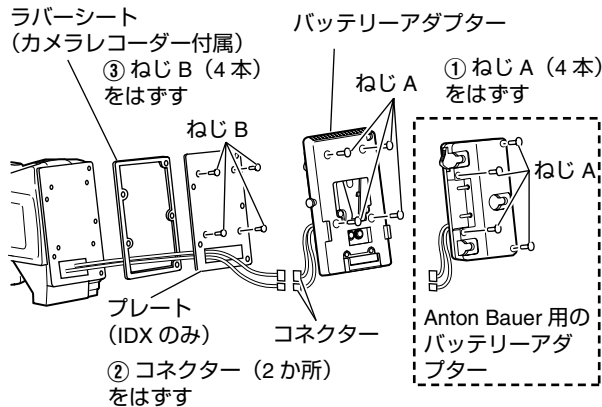
メモ:

●バッテリーアダプターには、IDX 用と Anton Bauer 用の 2 種類があり、カメラレコーダーの仕向け地によってどちらかが取り付けられています。

1 カメラレコーダーからバッテリーをははずす

2 カメラレコーダーからバッテリーアダプターを取りはずす

下図の①～③の手順でバッテリーアダプター、プレート (IDX のみ)、ラバーシートをカメラレコーダーから順番に取りはずします。

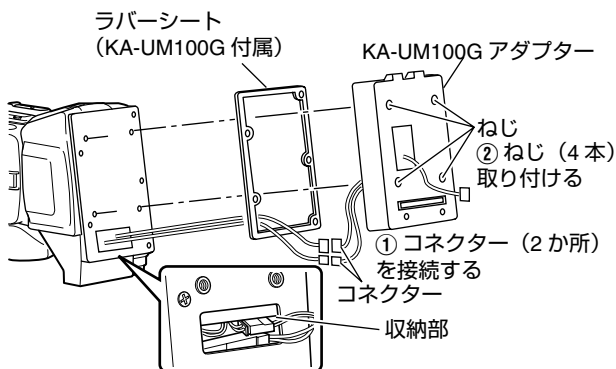


メモ:

●Anton Bauer 用のバッテリーアダプターには、プレートがありません。

3 カメラレコーダーに KA-UM100G アダプター(別売)を取り付ける

カメラレコーダー背面のねじ穴とラバーシートの穴の位置を合わせたら、下図の①～②の手順で、KA-UM100G アダプターを取り付けます。

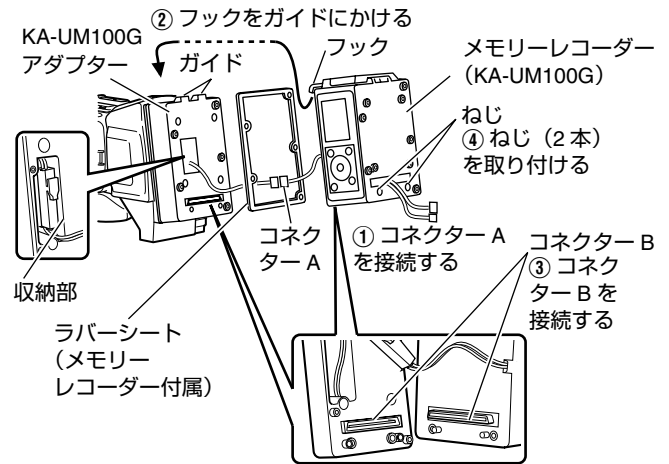


ご注意:

●接続ワイヤーやコネクターは、はみ出さないよう溝部や収納部に収めてください。

4 KA-UM100G アダプターにメモリーレコーダーを取り付ける

ラバーシートの穴と KA-UM100G アダプター背面のねじ穴の位置を合わせて、下図①～④の手順でメモリーレコーダーを取り付けます。

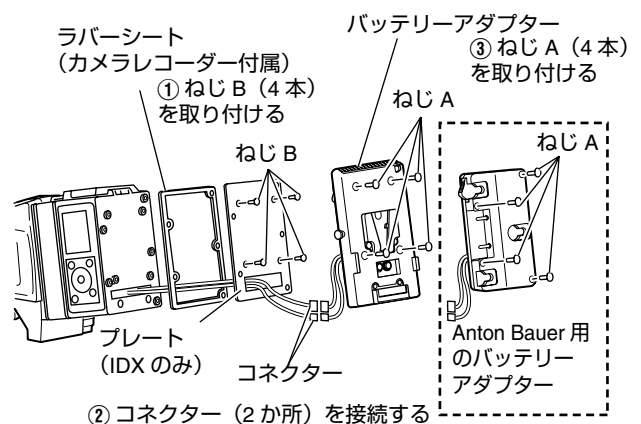


ご注意:

●接続ワイヤーやコネクターは、はみ出さないよう溝部や収納部に収めてください。

5 メモリーレコーダーにバッテリーアダプターを取り付ける

ラバーシートの穴とメモリーレコーダー背面のねじ穴の位置を合わせて、下図①～③の手順でラバーシート、プレート (IDX のみ)、バッテリーアダプターの順番に取り付けます。



ご注意:

●接続ワイヤーやコネクターは、はみ出さないよう溝部や収納部に収めてください。

メモ:

●Anton Bauer 用のバッテリーアダプターには、プレートがありません。

6 カメラレコーダーにバッテリーを取り付ける

ご注意:

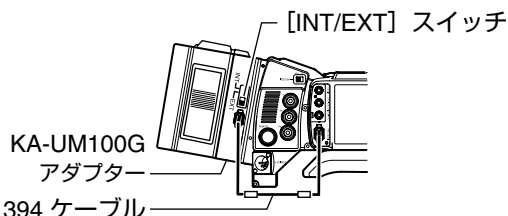
●接続対象以外のバッテリーは使用しないでください。詳しくは、カメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

IEEE1394 接続をする

IEEE1394 接続の方法は2通りあります。

IEEE1394 ケーブルで接続する

- KA-UM100G アダプターとカメラレコーダーの IEEE1394 端子に IEEE1394 ケーブルを接続します。
- [INT/EXT] スイッチを“EXT”に設定します。



- メモ：――
- IEEE1394 ケーブルの入手方法については、お買いあげ販売店にご相談ください。
 - [INT] に設定した場合は、信号の入出力ができなくなります。

内部配線で接続する

カメラレコーダーの内部配線の接続変更が必要です。

- メモ：――
- [INT] 設定で接続するには、カメラレコーダーの内部配線の接続変更が必要です。詳しくは、お買いあげ販売店にご相談ください。
 - 内部配線で接続した場合は、アダプターの IEEE1394 端子が無効になります。

[INT/EXT] スイッチ	内容
INT	● SxS メモリーカードに記録・再生する場合に設定します。 ● [INT] に設定した場合は、カメラレコーダーの IEEE1394 端子が無効になります。
EXT	● カメラレコーダーの IEEE1394 端子とパソコンなどを接続する場合に設定します。 ● [EXT] に設定した場合は、メモリーレコーダーとカメラレコーダーの内部接続が無効になります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 1 カメラレコーダーの [POWER] スイッチを“ON”にする
- 2 メモリーレコーダーの [POWER] ボタンを1秒以上、長押しする

- メモリーレコーダーの電源が入り、LCD ディスプレイに“KA-MR100 POWER ON”のメッセージが数秒表示された後に、ステータス画面が表示されます。

- メモ：――
- お買いあげ時や長時間（めやす3箇月以上）使用していないときは内蔵時計の設定が必要です。メモリーレコーダーの電源が入ると LCD ディスプレイに“CLOCK SETUP

MENU” が数秒表示された後、自動的に [CLOCK1] 設定画面が表示されます。“日付・時刻を設定する” (P. 7 ページ)

電源を切る

- 1 メモリーレコーダーの [POWER] ボタンを1秒以上、長押しする

- メモリーレコーダーの電源が切れます。

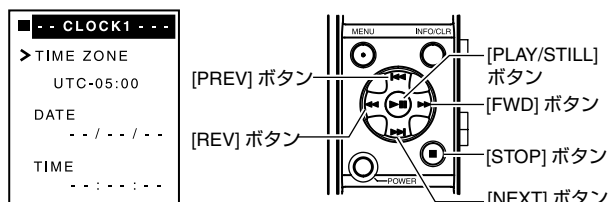
メモ：――

- カメラレコーダーの [POWER] スイッチに連動してメモリーレコーダーの電源を切るときは、GY-HD200/HD250 シリーズカメラレコーダーの OTHERS[2/2] メニュー画面で [DR-HD100 A.OFF] を“ON”に設定してください。

- ご注意：――
- メモリーレコーダーに電源を供給するときは、バッテリーを使用してください。カメラレコーダーの DC INPUT 端子からは、電源が供給できません。

日付・時刻を設定する

メニュー画面の [CLOCK1] 設定画面で内蔵時計を設定します。



< [CLOCK1] 設定画面 > < 使用するボタン >

1 設定する項目 (“TIME ZONE”、“DATE”、“TIME”) を選択する

- [PREV] ボタンまたは [NEXT] ボタンを押して、設定項目を選択します。
- 設定項目を選択したら、[PLAY/STILL] ボタンまたは [FWD] ボタンを押して決定します。

2 各項目を設定する

下表の項目を設定します。

- メモ：――
- “DATE”、“TIME” を設定する前に、必ず“TIME ZONE”を設定してください。
 - メモリーレコーダーは、サマータイムには対応していません。

項目	設定内容
TIME ZONE	UTC(協定世界時)からの時差を設定します。この項目を変更すると、“DATE”、“TIME”の値も補正されます。 “UTC 時差の地域一覧表” (P. 18 ページ)
DATE	日付(月/日/年)を設定します。
TIME	時刻(時:分:秒)を設定します。

- [PREV] ボタンまたは [NEXT] ボタンを押して設定値を選択し、[PLAY/STILL] ボタンを押して決定します。
- DATE と TIME を設定するときは、[FWD] ボタンまたは [REV] ボタンを押すと DATE では“日付(月/日/年)”、TIME では“時刻(時:分:秒)”を選択できます。

3 [MENU] ボタンを押して、ステータス画面に戻る

SxS メモリーカードを挿入する / 取りはずす

ご注意:

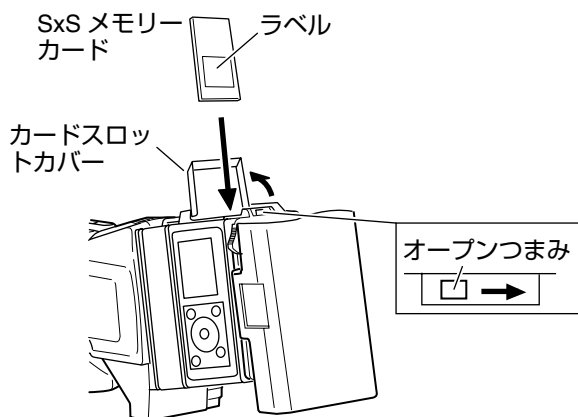
- ExpressCard USB タイプには対応しておりません。推奨の SxS メモリーカードを使用してください。([仕様] 17 ページ)
- SxS メモリーカードを逆向きで挿入しないでください。カードスロットは逆向きでの挿入はできない構造になっています。無理に挿入すると故障の原因となります。

SxS メモリーカードを挿入する

1 カードスロットカバーのオープンつまみを横にスライドさせ、カバーを開く

2 SxS メモリーカードをカードスロットに挿入する

- 下図のようにラベル面を手前にして挿入してください。
- アクセスランプが赤色で点灯し、使用可能な状態になると緑色に点灯します。



3 カードスロットカバーを閉じる

メモ:

- LCD ディスプレイに“FORMAT”と表示されたときは、必ずメモリーレコーダーでフォーマット（初期化）してください。“メニュー画面の[MEDIA]→[FORMAT]設定” (13 ページ)

ご注意:

- 他機でフォーマットした SxS メモリーカードは、メモリーレコーダーで使用できません。

SxS メモリーカードのライトプロテクトスイッチ

記録クリップ保護のため、SxS メモリーカードへの記録やクリップ消去をできないようにしたいときは、SxS メモリーカードの側面にあるライトプロテクトスイッチを“WP”側にしてください。ライトプロテクトされた SxS メモリーカードを使用した場合、LCD ディスプレイのステータス画面に“WRITE PROTECT!”メッセージが約3秒間表示されます。詳しくは、SxS メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

ご注意:

- メモリーレコーダーに挿入した状態で SxS メモリーカードのライトプロテクトスイッチを操作しないでください。

SxS メモリーカードを取りはずす

ご注意:

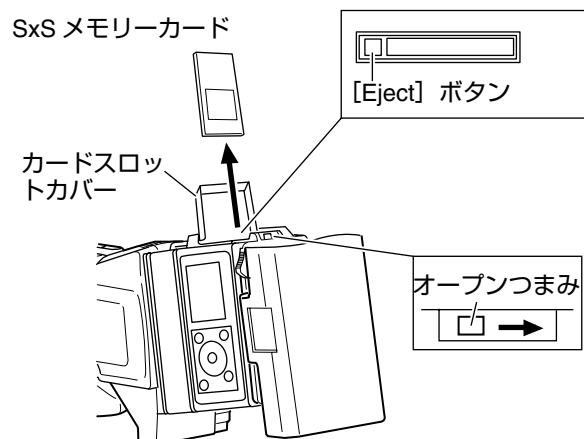
- メモリーレコーダーのアクセスランプが赤色点灯しているときに、SxS メモリーカードを取りはずさないでください。取りはずすときは、アクセスランプが緑色になっていることを確認してから取りはずしてください。

1 カードスロットカバーのオープンつまみを横にスライドさせ、カードスロットカバーを開く

2 スロットの横にある[EJECT]ボタンを押して、ロックを解除する

3 もう一度、[EJECT]ボタンを押して、SxS メモリーカードを取りはずす

SxS メモリーカード



4 カードスロットカバーを閉じる

SxS メモリーカードの記録可能時間

SxS メモリーカードに記録できる時間は、入力信号フォーマットに応じて下表のようになります。

32GB 容量 SxS メモリーカード使用時

モード	映像フォーマット	記録可能時間
HD1	720(50p/25p/60p/30p/24p)	約 180 分
HD2	1080 (50i/60i)	約 140 分

メモ:

- 表の数値は、めやすであり保証する値ではありません。また、連続記録できる時間ではありません。バッテリーがフル充電のときに連続記録できる時間は、ご使用するバッテリーによって異なります。

カメラレコーダーの映像をメモリーレコーダーで記録する

カメラレコーダーの映像をメモリーレコーダーで記録するときは、カメラレコーダー側の REC トリガーボタンを操作します。記録を開始／停止するたびに、1つのクリップが SxS メモリーカードに作成されます。

記録前の設定

記録する前には、カメラレコーダーとメモリーレコーダーの設定が必要です。

■ カメラレコーダーの設定

1 [CAM/VTR] ボタンで “CAM” モードに設定する

2 [IEEE1394] スイッチを “HDV” 側に設定する

● メモリーレコーダーは DV フォーマットに対応していません。

3 映像フォーマット (720/60p など) を設定する

● メモリーレコーダーの映像フォーマット設定に合わせてください。

メモ：

● 1080記録できるカメラレコーダーは GY-HD200 (B) シリーズです。カメラレコーダーのネームプレートでご確認ください。

4 SxS メモリーカードへの記録方法を選択する

● OTHERS[2/2] メニュー画面の [1394 REC TRIGGER] で SxS メモリーカードへの記録方法を選択します。

設定	記録方法
OFF	カメラレコーダーのカセットテープのみに記録する場合 ※ SxS メモリーカードには記録しません。
SYNCRO	ハイブリット記録する場合
SPLIT	SxS メモリーカードのみに記録する場合
SERIES	シリーズ記録する場合

※ 詳しくは、カメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

■ メモリーレコーダーの設定

メニュー画面の設定方法は 11 ページをご覧ください。

1 カメラレコーダーの設定に合わせて、映像フォーマットを設定する

● メニュー画面の [SYSTEM] 設定で、解像度 (RESOLUTION) とフレームレート (FRAME/RATE) を設定します。(☞ 12 ページ)

2 SxS メモリーカードのタイムコード記録方法を設定する

● メニュー画面の [TC SET1] 設定画面で、下記の 3 つを設定します。(☞ 12 ページ)

設定項目	設定内容
TC SOURCE	タイムコードのソースを設定
GENERATOR	メモリーレコーダータイムコードジェネレーターの歩進方法を設定
DROP FRAME	“NON DROP” か “DROP” フレームを設定 (フレームレートが 60 または 30 のときのみ可能です。)

タイムコードやユーザズビットのプリセットはメニュー画面の [TC SET2] 設定画面で設定します。(☞ 13 ページ)

SxS メモリーカードに記録する

● メモリーレコーダーが再生モードのときは、[STOP] ボタンを押して停止状態にします。

● カメラレコーダーには、REC トリガーボタンが 3箇所 (レンズ部、側面部、ハンドル部) にあります。[1394 REC TRIGGER] の設定により、SxS メモリーカードへ記録するための REC トリガーボタンが異なります。

● REC トリガーボタンを押すと、カメラレコーダーのディスプレイに “TRIGGER TO HDV” と表示されます。

■ カセットテープとのハイブリット記録をする (“SYNCRO” 設定時)

カメラレコーダーのカセットテープと SxS メモリーカードに記録します。

1 カメラレコーダーのレンズ部、側面部、ハンドル部にある REC トリガーボタンのどれかを押して、SxS メモリーカードへ記録する

2 カメラレコーダーの REC トリガーボタンを押して、記録とスタンバイを切り換える

3 メモリーレコーダーの [STOP] ボタンを押して、記録を停止する

メモ：

● カメラレコーダーにカセットテープが入っていない場合は、SxS メモリーカードのみに記録します。

■ SxS メモリーカードのみに記録する (“SPLIT” 設定時)

カメラレコーダー側面部の REC トリガーボタンを押し、SxS メモリーカードに記録します。

1 カメラレコーダー側面部側の REC トリガーボタンを押して、SxS メモリーカードへ記録する

2 カメラレコーダーの REC トリガーボタンを押して、記録とスタンバイを切り換える

3 メモリーレコーダーの [STOP] ボタンを押して、記録を停止する

■ シリーズ記録をする (“SERIES” 設定時)

カセットテープの残量が約 3 分になると、自動的に SxS メモリーカードへの記録が開始されます。

1 カメラレコーダーのレンズ部、側面部、ハンドル部にある REC トリガーボタンのどれかを押して、カセットテープへ記録する

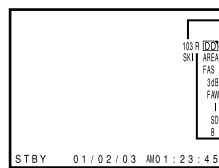
● カセットテープの残量が約 3 分になると、自動的に SxS メモリーカードへの記録が開始されます。

2 メモリーレコーダーの [STOP] ボタンを押して、記録を停止する

メモ：

● SxS メモリーカードの残量がない場合、約 3 秒間 “CARD FULL !” と表示されます。

カメラレコーダーのディスプレイ表示



残量時間
メモリーレコーダー
接続時：白色表示
記録時：赤色表示
1394 REC TRIGGER モード
R: OFF Y: SYNCRO
R: SPLIT F: SERIES
接続時：赤色点滅表示 記録時：赤色表示

<カメラレコーダー STATUS 0 画面>

メモリーレコーダーで記録した映像を再生する

メモリーレコーダーで記録した映像を再生するときは、メモリーレコーダーのLCDディスプレイに表示されるクリップ選択画面でクリップを選択します。再生映像は、カメラレコーダーの液晶画面やビューファインダーに表示されます。

メモ：

- メモリーレコーダーで記録した映像を再生するときは、カメラレコーダーのカセットテープ再生を停止してください。
- スチル、早送り／早戻しモードのときは、カメラレコーダーの液晶画面やビューファインダーの映像が乱れる場合があります。

再生前の設定

再生する前に、カメラレコーダーとメモリーレコーダーの設定が必要です。

■カメラレコーダーの設定

1 [CAM/VTR] ボタンで、“VTR” モードに設定する

2 [IEEE1394] スイッチを、“HDV” 側に設定する

■メモリーレコーダーの設定

メニュー画面の設定方法は 11 ページをご覧ください。

1 映像フォーマットを設定する

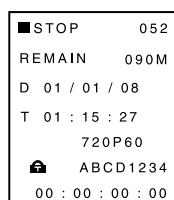
- メニュー画面の[SYSTEM]設定で、解像度 (RESOLUTION) とフレームレート (FRAME/RATE) を設定します。(P. 12 ページ)

ご注意：

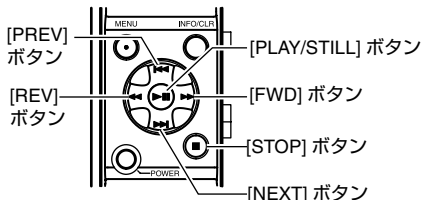
- カメラレコーダーのフォーマット設定と合わせてください。カメラレコーダーとメモリーレコーダーの設定が異なると、再生ができません。

SxS メモリーカードのクリップを再生する

スタンバイモードになってるときは、メモリーレコーダーの[STOP] ボタンを押して、停止状態にします。



< LCD ディスプレイ >



< 使用するボタン >

通常再生

1 [PLAY/STILL] ボタンを押す

メモ：

- 再生可能なクリップには、クリップ名の前にチェックマーク (✓) が付いています。
- カーソル (➤) 位置のクリップが選択クリップです。“LCD ディスプレイの表示” (P. 5 ページ)

2 [NEXT] ボタンまたは [PREV] ボタンを押して、再生したいクリップを選択する

- チェックマークの付いたクリップを選択してください。
- チェックマークが付いていないクリップを再生したいときは、クリップを選択したときに表示される映像フォーマットに、カメラレコーダーとメモリーレコーダーを設定する必要があります。

3 [PLAY/STILL] ボタンを押して、再生する

- カメラレコーダーの液晶画面やビューファインダーに再生映像が表示されます。
- メモリーレコーダー LCD ディスプレイの再生位置表示バーが進行します。
- 再生中に [PLAY/STILL] ボタンを押すと、スチルになります。もう一度 [PLAY/STILL] ボタンを押すと、再生を開始します。

メモ：

- SxS メモリーカードに複数クリップが存在するときは、再生可能なクリップを順次連続再生します。最後のクリップの再生を終了するとスチルになります。

4 [STOP] ボタンを押して、クリップの再生を停止する

LCD ディスプレイはステータス画面になります。

早送り / 早戻し

選択クリップを早送りまたは早戻しします。選択クリップの最後または先頭で、スチルになります。また、早送りまたは早戻しの途中で、[PLAY/STILL] ボタンを押すと、スチルになります。

■スチル、再生、早戻しのときに [FWD] ボタンを押す

低速早送り (F1) します。もう一度 [FWD] ボタンを押すと、高速早送り (F2) します。

■スチル、再生、早送りのときに [REV] ボタンを押す
低速早戻し (R1) します。もう一度 [REV] ボタンを押すと、高速早戻し (R2) します。

スキップ

再生可能な前後のクリップにスキップします。

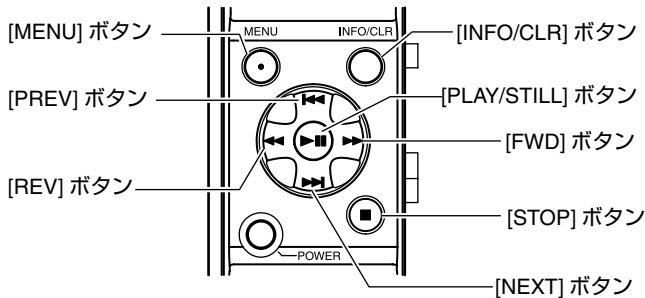
■スチルまたは早戻しのときに [NEXT] ボタンを押す
ボタンを押すと、次のクリップの先頭でスチルになります。ボタンを2回続けて押すと、2つ先のクリップの先頭でスチルになります。

■スチルまたは早戻しのときに [PREV] ボタンを押す
クリップの途中でボタンを押すと、選択クリップの先頭でスチルになります。クリップの先頭でボタンを押すと1つ前のクリップの先頭でスチルになります。

■再生または早送りのときに [NEXT] ボタンを押す
ボタンを押すと、次のクリップの先頭で再生が始まります。ボタンを2回続けて押すと、2つ先のクリップの先頭で再生が始まります。

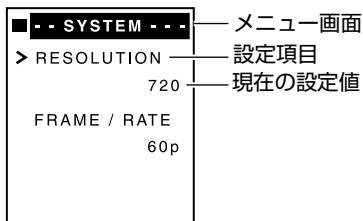
■再生または早送りのときに [PREV] ボタンを押す
クリップの途中でボタンを押すと、選択クリップの先頭で再生が始まります。クリップの先頭でボタンを押すと1つ前のクリップの先頭で再生が始まります。

メニュー画面の設定方法



各種設定値の設定方法

1 [MENU] ボタンを押す



2 [NEXT] または [PREV] ボタンを押して、カーソル (>) を設定したい項目に合わせる

3 [PLAY/STILL] ボタンまたは [FWD] ボタンを押す



4 [NEXT] または [PREV] ボタンを押して、カーソル (>) を設定したい値に合わせる

5 [PLAY/STILL] ボタンを押して、設定する

- 変更後はメニュー画面に戻ります。

メモ：

- 設定画面で [STOP] ボタンまたは [REV] ボタンを押すと、設定値は変更されずにメニュー画面に戻ります。

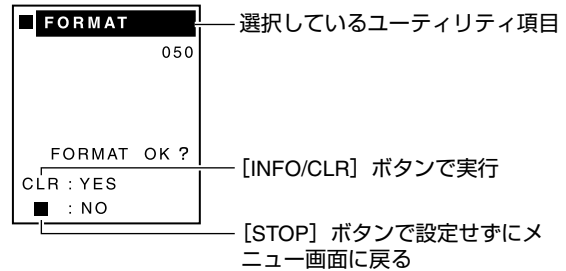
6 [MENU] ボタンを押して、メニュー画面表示を終了する

各種ユーティリティの実行方法

1 メニュー項目を選択して、各種ユーティリティの実行画面を表示する

各種ユーティリティは以下の項目になります。

- [DELETE] 設定画面の [NOW CLIP] および [ALL CLIP]
- [OK CLIP] 設定画面の [ALL OK] および [ALL NONE]
- [CLIP NAME] 設定画面の [NUMBER]
- [MEDIA] 設定画面の [FORMAT] および [RESTORE]
- [OTHERS] 設定画面の [ALL RESET]



2 [INFO/CLR] ボタンを押して、選択した項目を実行する

- 実行メッセージが表示された後に、メニュー画面に戻ります。
- ユーティリティの実行中は、すべての操作を受け付けません。
- [FORMAT] および [RESTORE] の実行中は、LCD ディスプレイに「EXECUTE」と表示されます。
- [FORMAT] および [RESTORE] が完了すると、LCD ディスプレイに「COMPLETE」と表示されます。失敗したときは、「ERROR！」と表示されます。

メモ：

- [STOP] ボタンを押すと、選択した項目は実行されずにメニュー画面に戻ります。

タイムコード/ユーザービットプリセット、クリップ名および日付・時刻の設定方法

1 メニュー項目を選択して、タイムコード/ユーザービットプリセット、クリップ名および日付・時刻を選択する

- タイムコードプリセット/ユーザービットプリセット
： [TC SET2] 設定画面の [TC PRESET]/[UB PRESET]
- クリップ名設定
： [CLIP NAME] 設定画面の [PREFIX]
- 日付/時刻設定
： [CLOCK1] 設定画面の [DATE]/[TIME]



メモ：

- タイムコード、ユーザービットおよび時刻設定で [INFO/CLR] ボタンを押すと、全桁が「00」になります。クリップ名設定では、工場出荷時設定の名前が表示されます。

2 [FWD] または [REV] ボタンを押して、設定項目を選択する

3 [NEXT] または [PREV] ボタンを押して、選択項目の値を変更する

4 [PLAY/STILL] ボタンを押して、変更した値を設定する

- 設定後はメニュー画面に戻ります。

メモ：

- 設定画面で [STOP] ボタンを押すと、設定値は変更されずにメニュー画面に戻ります。

メニュー画面の構成と機能

下表の設定値欄で () の付いた設定値が工場出荷時の設定です。

設定項目	設定値	機能
SYSTEM		記録または再生する映像フォーマットを設定します。カメラレコーダーの設定と一致させてください。一致していないと記録・再生ができません。
RESOLUTION	(720)、1080	解像度を設定します。
FRAME/RATE	RESOLUTION : 720 設定時 (60p)、30p、50p、25p、24p	フレームレートを設定します。[RESOLUTION] の設定値によって、設定できるフレームレートが異なります。
	RESOLUTION:1080 設定時 (60i)、50i	
LCD		メモリーレコーダーLCD ディスプレイのコントラストとバックライトを設定します。
CONTRAST	MAX、+4、+3、+2、+1、(0)、-1、-2、-3、-4、MIN	コントラストを調整します。
BACKLIGHT	OFF (ON) AUTO	OFF : バックライトを常時消灯させます。 ON : バックライトを常時点灯させます。 AUTO : ボタン操作をするとバックライトが点灯します。操作後約5秒で自動的に消灯します。
DELETE		クリップを削除します。 ● 記録中にクリップを削除することはできません。 ● ok マークの付いたクリップを削除することはできません。
NOW CLIP	NO YES	再生モードのときは、現在選択されているクリップを削除します。停止またはスタンバイモードのときは、最後に記録したクリップを削除します。 YES : クリップを削除する場合 ([INFO/CLR] ボタンを押す) NO : クリップを削除しない場合 ([STOP] ボタンを押す)
ALL CLIP	NO YES	すべてのクリップを削除します。 YES : クリップを削除する場合 ([INFO/CLR] ボタンを押す) NO : クリップを削除しない場合 ([STOP] ボタンを押す)
OK CLIP		大切なクリップや消去したくないクリップを OK クリップに指定します。OK クリップに指定をすると、クリップ選択画面のクリップ名の右側に ok マークが付きます。
NOW CLIP	NONE OK	再生モードのときは、選択クリップを OK クリップに指定します。停止またはスタンバイモードのときは、最後に記録したクリップを OK クリップに指定します。 NONE : OK クリップに指定しない場合 ([PLAY/STILL] ボタンを押す) OK : OK クリップに指定する場合 ([PLAY/STILL] ボタンを押す)
ALL OK	NO YES	すべてのクリップを OK クリップに指定します。 YES : OK クリップに指定する場合 ([INFO/CLR] ボタンを押す) NO : 現在の設定を変更しない場合 ([STOP] ボタンを押す)
ALL NONE	NO YES	OK クリップの指定をすべて解除します。 YES : OK クリップの指定を解除する場合 ([INFO/CLR] ボタンを押す) NO : 現在の設定を変更しない場合 ([STOP] ボタンを押す)
TC SET1		メモリーレコーダーのタイムコードに関する設定を行ないます。
TC SOURCE	(INT) EXT	タイムコードのソースを選択します。 INT : メモリーレコーダータイムコードジェネレーターの値で歩進します。 EXT : カメラレコーダーからのタイムコード値で歩進します。 [EXT] の設定で使うときは、カメラレコーダーの [TC GENE.] スイッチを “FREE” に設定してください。
GENERATOR	FREE (RECRUN) REGEN	タイムコードジェネレーターの歩進モードを選択します。 ● [TC SOURCE] を “INT” に設定したときに、設定できます。 FREE : プリセットした値からフリーランモードで歩進します。 RECRUN : プリセットした値から記録時に歩進します。 REGEN : SxS メモリーカードの最後のタイムコードを読み取り、その値に連続するように歩進します。
DROP FRAME	(NON DROP) DROP	ノンドロップフレームかドロップフレームモードかを選択します。 ● [TC SOURCE] を “INT” に設定したときに設定できます。 ● フレームレートが 60 または 30 のときに設定できます。 NON DROP : ノンドロップフレームモード DROP : ドロップフレームモード

設定項目		設定値	機能				
TC SET2			メモリーレコーダーのタイムコードジェネレーターをプリセットします。				
TC PRESET	(00:00:00:00)～23:59:59:29 または (00:00:00:00)～23:59:59:24	フレームレートの設定によって、指定できるフレーム数が下記のようになります。 (例：フレームレートが 60 の場合、フレーム数は 58 まで指定できます。)					
		フレームレート	60	50	30	25	24
	フレーム数	58	48	29	24	23	
UB PRESET	(00 00 00 00)～FF FF FF FF	ユーザービットをプリセットします。(8 桁)					
CLIP NAME			記録する前にクリップ名の先頭 4 文字を指定したり、クリップ番号をリセットすることができます。 ● クリップ名は、8 桁で自動構成されます。 ● 後ろ 4 桁の番号は、クリップが作成されるたびに連番で自動付加されます。SxS メモリーカードを入れ換えたあとや、“PREFIX” でクリップ名の先頭 4 文字を変更したあと、連番で自動付加されます。				
PREFIX	(シリアル番号の下 3 桁 +K)	クリップ名の先頭 4 文字を指定できます。 (使用可能文字 : A ～ Z, a ～ z, 0 ～ 9, - , _) 工場出荷時はクリップ名が “シリアル番号の下 3 桁 +K” に指定されています。 例) シリアル番号が 00001234 の場合、234K になります。					
NUMBER RESET	YES NO	“PREFIX” でクリップ名を変更して、クリップ番号をふりなおしたいときに、クリップ番号をリセット (0001) できます。 SxS メモリーカードにすでにクリップが存在するときは、空き番号の中で一番小さな数値が設定されます。 例) SxS メモリーカードに 0001 が存在する場合、0002 が設定されます。 YES : リセットする場合 ([INFO/CLR] ボタンを押す。) NO : リセットしない場合 ([STOP] ボタンを押す。)					
CLOCK1			メモリーレコーダーの時計に関する設定を行ないます。				
TIME ZONE	UTC-12:00 ～ (UTC-05:00) ～ UTC+14:00	UTC(協定世界時) からの時差を設定します。 “UTC 時差の地域一覧表 ” (P. 18 ページ) この項目の設定を変えると、次の [DATE]/[TIME] が補正されます。					
DATE	(--/--/--)	日付 (月／日／年) を設定します。年は西暦下 2 桁を設定します。 [INFO/CLR] ボタンを押すと、工場出荷時の設定値を表示します。					
TIME	(--:--:--)	時刻 (時：分：秒) を設定します。 [INFO/CLR] ボタンを押すと、工場出荷時の設定値を表示します。					
CLOCK2			日付または時刻の表示方法を設定します。				
DATE STYLE	YY/MM/DD (MM/DD/YY) DD/MM/YY	日付の表示スタイルを設定します。 ● この項目を変更した場合、[CLOCK1] 設定画面の [DATE] の表示方法も変更されます。 YY/MM/DD : 年／月／日 MM/DD/YY : 月／日／年 DD/MM/YY : 日／月／年					
TIME STYLE	12 (24)	時刻の表示スタイルを設定します。 ● この項目を変更した場合、[CLOCK1] 設定画面の [TIME] の表示方法も変更されます。 12 : 12 時間表示 (AM/PM 表示) 24 : 24 時間表示					
MEDIA			SxS メモリーカードに関する処理を行ないます。				
FORMAT	YES NO	SxS メモリーカードのフォーマット (初期化) を行います。 ● フォーマットを行うと SxS メモリーカード内のすべてのクリップが消去されます。 YES : フォーマットする場合 ([INFO/CLR] ボタンを押す。) NO : フォーマットしない場合 ([STOP] ボタンを押す。)					
RESTORE	YES NO	SxS メモリーカードのスキャンを行ない、破損クリップの修復を試みます。 ● ただし、修復を保証するものではありません。 YES : 実行する場合 ([INFO/CLR] ボタンを押す。) NO : 実行しない場合 ([STOP] ボタンを押す。)					
OTHER			メモリーレコーダーの操作ボタンやメニュー設定に関する設定を行います。				
OPERATION	(UNLOCK) LOCK	撮影中の誤操作防止のために、メモリーレコーダーのボタン操作を無効にすることができます。 UNLOCK : すべてのボタン操作が有効になります。 LOCK : ボタン操作が無効になります。ただし、以下の操作は有効です。 ● 記録／スタンバイ (カメラレコーダーの REC トリガーボタン) ● メニュー画面表示 ([MENU] ボタン) ● 電源オン ([POWER] ボタン)					
ALL RESET	YES NO	メモリーレコーダーのメニュー設定を工場出荷時設定に戻します。 YES : 工場出荷時設定に戻す場合 ([INFO/CLR] ボタンを押す。) NO : 工場出荷時設定に戻さない場合 ([STOP] ボタンを押す。)					

ワーニングメッセージ

LCD ディスプレイにワーニングメッセージが表示されたときは、下記の表に従って対応してください。



ワーニングメッセージ

メッセージ	内容
CLOCK SETUP MENU	時刻が設定されていないときに表示されます。 対応：[CLOCK1] 設定画面が表示されたら、時刻を設定してください。
WRITE PROTECT !	SxS メモリーカードのライトプロテクトスイッチを“WP”側にしているときに、表示されます。 対応：記録やクリップの削除を行うときは、ライトプロテクトスイッチを OFF に設定してください。
CARD FULL !	SxS メモリーカードの空き領域がないときに、表示されます。 対応：下記のどちらかを行なってください。 ● 空き容量がある SxS メモリーカードを使用する。 ● 不要クリップの削除または、フォーマットして空き領域をつくる。
OPERATION LOCK !	[OPERATION] メニューを“LOCK”に設定しているときに、[MENU] ボタン以外のボタンを操作すると表示されます。 対応：[OPERATION] メニューで“UNLOCK”に設定変更してください。

エラーメッセージ

バッテリーや信号のエラーメッセージ

バッテリーの残量不足や入力信号エラーのときに、LCD ディスプレイの 1 行目にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示されたときは、下記の表に従って対応してください。

メッセージ	内容
BAT. ALARM !	バッテリー残量が不足しているときに表示されます。 対応：バッテリーを充電してください。
SHUT DOWN !	バッテリー残量がなくなる直前に表示されます。表示されてから数秒後にシャットダウンします。 対応：バッテリーを充電してください。
NO SIGNAL! (*1)	信号が入力されていないときに表示されます。 対応：IEEE1394 ケーブルの接続やカメラレコーダーの設定を確認してください。
Other SIGNAL (*1)	メモリーレコーダーと異なるフォーマットの信号が入力されているときに表示されます。 対応：メモリーレコーダーとカメラレコーダーの設定を合わせてください。(P. 9 ページ)

(*1) 記録および停止モードのときに表示されます。

カードエラーメッセージ

メモリーレコーダーで使用できない SxS メモリーカードを検出した場合、LCD ディスプレイの 1 行目に“ERROR CARD !”とカードエラーとなる要因メッセージが交互に表示されます。(約 2 秒間隔) エラーメッセージが表示されたときは、下記の表に従って対応してください。

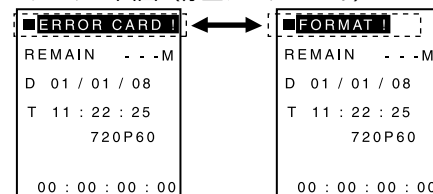
メッセージ	内容
NO SUPPORT !	サポート外のメディアが挿入されたときに表示されます。 対応：推奨の SxS メモリーカードに交換してください。
FORMAT !	他機でフォーマットされているときに表示されます。 対応：メモリーレコーダーで“FORMAT”を実行してください。 “メニュー画面の[MEDIA] → [FORMAT] 設定” (P. 13 ページ)
CARD CHANGE	クリップに異常があるときに表示されます。 対応：メモリーレコーダーで“RESTORE”または“FORMAT”を実行してください。復帰しない場合は、SxS メモリーカードが故障している場合がありますので、SxS メモリーカードを交換してください。
RESTORE !	クリップが破損している可能性があるときに表示されます。 対応：メモリーレコーダーで“RESTORE”を実行してください。

カードエラーメッセージは、以下の操作をしたときに表示されます。

- SxS メモリーカードを挿入したとき
- SxS メモリーカードを挿入した状態で電源を入れたとき

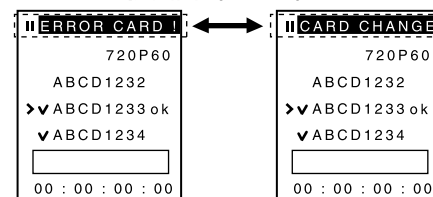
■停止、スタンバイおよびスチルの場合

ステータス画面（停止、スタンバイ）



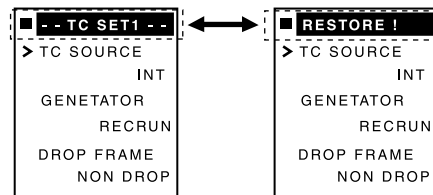
< LCD ディスプレイ >

クリップ選択画面（スチル）



< LCD ディスプレイ >

■メニュー画面表示の場合



< LCD ディスプレイ >

こんなときは

症状	原因	処置	参照
電源が入らない	カメラレコーダーの DC INPUT 端子から電源を供給している。	バッテリーを取り付けてください。メモリーレコーダーはカメラレコーダーの DC INPUT 端子からは、電源を供給できません。	☞ 7 ページ
	カメラレコーダーの電源のみを "ON" にしている。	電源投入時はメモリーレコーダーの電源も入れる必要があります。	☞ 7 ページ
	バッテリーの残量が不足している。	バッテリーを充電してください。	☞ 14 ページ
記録・再生できない	IEEE1394 ケーブルが接続されていない。	GY-HD200/HD250 シリーズと KA-UM100G アダプターを IEEE1394 ケーブルで接続してください。	☞ 7 ページ
	KA-UM100G アダプターの [INT/EXT] スイッチの設定が適切でない。	● 通常は "EXT" でご使用ください。(IEEE1394 の接続をケーブルを使わずに内部配線で行なっているときは、"INT" に設定する必要があります。 ● 正しく設定しても "NO SIGNAL" 表示が消えない場合は、再度 スイッチを切り換え直してください。それでも表示が消えない場合は、電源の再起動を行なってください。	☞ 7 ページ
	カメラレコーダーとメモリーレコーダーの映像フォーマットが一致していない。	カメラレコーダーとメモリーレコーダーの映像フォーマットを一致させてください。	☞ 9 ページ
	カメラレコーダーの [IEEE1394] スイッチが "DV" 側に設定されている。	[IEEE1394] スイッチを "HDV" 側に設定してください。"HDV" 側に設定しても "NO SIGNAL" 表示が消えない場合は、再度スイッチを切り換え直してください。それでも表示が消えない場合は、電源の再起動を行なってください。	☞ 9 ページ ☞ 10 ページ
記録スタートしない	カメラレコーダーが "VTR" モードになっている。	[CAM/VTR] ボタンで "CAM" モードに設定してください。	☞ 9 ページ
	カメラレコーダーの OTHERS[2/2] メニュー画面の [1394 REC TRIGGER] が "OFF" または "SERIES" に設定されている。	[1394 REC TRIGGER] を "SYNCRO" または "SPLIT" に設定してください。 "SERIES" に設定したときは、カセットテープの残量が約 3 分になると記録を始めます。	☞ 9 ページ
	メモリーレコーダーが再生モードになっている	[STOP] ボタンを押して停止状態にしてください。	☞ 9 ページ
	SxS メモリーカードがライトプロテクトされている	記録やクリップの削除を行うときは、ライトプロテクトスイッチを OFF に設定してください。	☞ 14 ページ
	SxS メモリーカードに空き容量がない	空き容量がある SxS メモリーカードを使用してください。	☞ 14 ページ
再生できない	カメラレコーダーが "CAM" モードになっている。	[CAM/VTR] ボタンで "VTR" モードに設定してください。	☞ 10 ページ
	カセットテープが再生されている。	SxS メモリーカードを再生する場合は、カセットテープの再生を停止してください。	☞ 10 ページ
	チェックマーク (✓) が付いてないクリップを選択している。	クリップを選択したときに表示される映像フォーマットに、カメラレコーダーとメモリーレコーダーを設定してください。	☞ 10 ページ
	メモリーレコーダーが記録またはスタンバイモードになっている。	[STOP] ボタンを押して停止状態にしてください。	☞ 10 ページ
	クリップが破損している可能性がある。	メモリーレコーダーで "RESTORE" を実行してください。	☞ 14 ページ
ボタンを押しても動作しない	[OPERATION] メニューを "LOCK" に設定している。	[OPERATION] メニューで "UNLOCK" に設定変更してください。	☞ 14 ページ
	同時に複数のボタンを押したり、ボタンを連打した。	ボタン操作は 1 つずつ間隔をあけておこなってください。	—
アクセスランプが点灯しない	SxS メモリーカードがカードスロットに完全に挿入されていない。	SxS メモリーカードを奥までしっかりと挿し込んでください。	☞ 8 ページ
	SxS メモリーカードのラベル面が反対の向きで挿入されている。	SxS メモリーカードのラベル面を確認し、正しい方向で挿しなおしてください。	☞ 8 ページ
SxS メモリーカードが使用できない	他機でフォーマットした SxS メモリーカードを使用した。	メモリーレコーダーで "FORMAT" を実行してください。	☞ 13 ページ
	サポート外のメディアが挿入されている。	推奨の SxS メモリーカードに交換してください。	☞ 14 ページ
	クリップに異常がある。	メモリーレコーダーで "RESTORE" または "FORMAT" を実行してください。それでも復帰しない場合は、推奨の SxS メモリーカードに交換してください。	☞ 14 ページ
カメラレコーダーのディスプレイにエラーメッセージが表示される	"DR-HD100 POWER ?" と表示される場合 メモリーレコーダーの電源が入っていない。またはメモリーレコーダーが接続されていない。	メモリーレコーダーを接続し電源を入れてください。	☞ 6 ページ ☞ 7 ページ
	"HDD NO 1394 SIGNAL" と表示される場合 メモリーレコーダーが再生モードのときに、カメラレコーダーが "CAM" モードになっている。	カメラレコーダーを "VTR" モードに設定してください。	☞ 10 ページ
	"HDD SPACE LOW" と表示される場合 SxS メモリーカードの空き容量が少ない。または SxS メモリーカードが入っていない。	空き容量のある SxS メモリーカードを使用してください。	—

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容で確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買いあげ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買いあげ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買いあげ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買いあげ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買いあげ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。もよりのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買いあげ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	: メモリーレコーダー
品番	: KA-MR100G
お買いあげ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

※ 品番は、本機側面のシールでご確認ください。

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

■ メディアスロット部

対応メディア	SxS メモリーカード
スロット数	1 スロット
インターフェース	ExpressCard/34 準拠 (PCI Express のみ対応、USB 非対応)

■ 映像フォーマット

記録ファイル形式	MP4
記録時間	HD1 モード : 約 180 分 HD2 モード : 約 140 分 (32 GB 容量カード使用の場合)
ファイルシステム	FAT32(SxS 形式)
最大ファイルサイズ	4 GB
OS 互換性	Windows XP、Windows Vista Mac OS/X

■ 入力信号フォーマット

映像	< HD1 モード > MPEG-2(MP@H-14) 720/50p/25p/60p/30p/24p(8 bit 19.5 Mbps CBR) < HD2 モード > MPEG-2(MP@H-14) 1080/50i/60i(8 bit 25 Mbps CBR)
音声	16 bit/48 kHz 2ch、384 kbps (MP2)
タイムコード信号	SMPTE/EBU 規格準拠

■ 総合

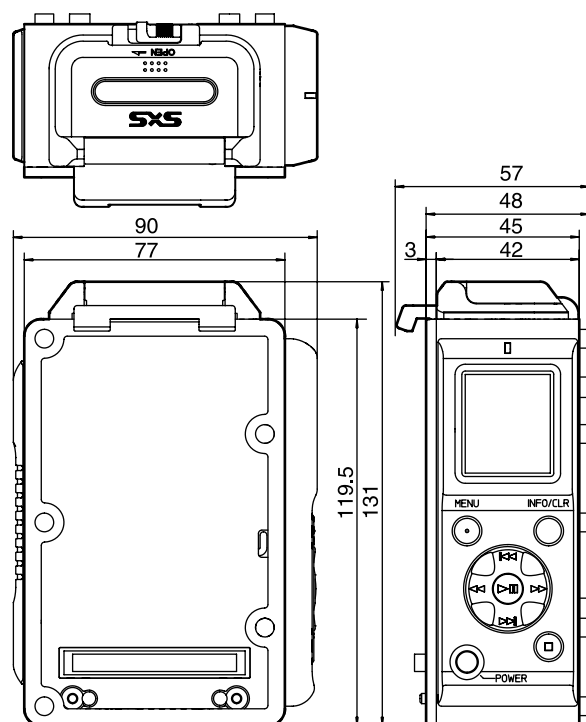
電源	DC12 V (DC 10.5 V ~ 17 V)
消費電力	6 W
外形寸法	90 mm x 131 mm x 57 mm (幅 x 高さ x 奥行き)
質量	0.42 kg
使用温度	0 °C ~ 40 °C
使用湿度	30 % ~ 80 % RH
保存温度	-20 °C ~ 60 °C
保存湿度	85 % RH 以下

■ その他

添付物	取扱説明書 ×1、ラバーシート ×1、 保証書 (日本向け) ×1、保証書 (US および CANADA 向け) ×1、CD-ROM ×1、 安全上のご注意 (日本向けのみ) ×1、 ピクチャーサービスイタリ案内 (日本向けのみ) ×1
接続可能 HD カメラレコーダー	GY-HD200 シリーズ、GY-HD250 シリーズ
関連オプション商品	KA-UM100G アダプター (GY-HD200/GY-HD250 シリーズ HD カメラレコーダーとメモリーレコーダーを接続するためのマウントキットです。)
推奨品	< SxS メモリーカード > SBP-8 (8 GB)、SBP-16 (16 GB)、SBP-32 (32 GB) < IEEE1394 ケーブル > CFS-6R016R09-07 など お買いあげ販売店にお問い合わせください

外形寸法図 [単位 : mm]

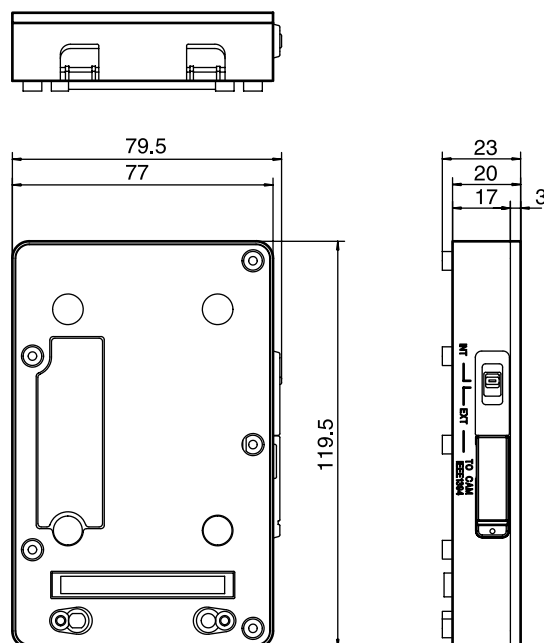
KA-MR100G



KA-UM100G アダプター (別売)

質量 : 0.145 kg

- 電源および温度、湿度、環境は、KA-MR100G に準じます。



※ メモリーレコーダーならびに関連商品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更されることがあります。

UTC 時差の地域一覧表

設定値	タイムゾーン	設定値	タイムゾーン
UTC+14:00		UTC 00:00	Greenwich
UTC+13:30		UTC-00:30	
UTC+13:00		UTC-01:00	Azores
UTC+12:30		UTC-01:30	
UTC+12:00	New Zealand	UTC-02:00	Mid-Atlantic
UTC+11:30	Norfolk Island	UTC-02:30	
UTC+11:00	Solomon Islands	UTC-03:00	Buenos Aires
UTC+10:30	Lord Howe Is.	UTC-03:30	Newfoundland
UTC+10:00	Guam	UTC-04:00	Halifax
UTC+09:30	Darwin	UTC-04:30	
UTC+09:00	Tokyo	UTC-05:00	New York
UTC+08:30		UTC-05:30	
UTC+08:00	Beijing	UTC-06:00	Chicago Denver
UTC+07:30		UTC-06:30	
UTC+07:00	Bangkok	UTC-07:00	Denver
UTC+06:30	Rangoon	UTC-07:30	
UTC+06:00	Dhaka	UTC-08:00	Los Angels
UTC+05:30	Bombay	UTC-08:30	
UTC+05:00	Islamabad	UTC-09:30	Marquesa Islands
UTC+04:30	Kabul	UTC-09:00	Alaska
UTC+04:00	Abu Dhabi	UTC-10:00	Hawaii
UTC+03:30	Tehran	UTC-10:30	
UTC+03:00	Moscow	UTC-11:00	Midway Island
UTC+02:30		UTC-11:30	
UTC+02:00	Eastern Europe	UTC-12:00	Kwajalein
UTC+01:30			
UTC+01:00	Central Europe		
UTC+00:30			

お客様ご相談センター

 0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950 [代表]

FAX (045)450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (042) 660-7245